

春まるかじりツアー

4月3日（月） ～ 4月5日（水）

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	レクリエーション大会 オリエンテーション	屋内レクリエーション
2日目	野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンプファイア
3日目	棒焼きパン作り 思い出出工作	施設を出発 解散式	

一日目： 快晴の下、キャンプが始まりました。尼崎からバスに乗り、今回キャンプを行う『南但馬自然学校』へ向かいました。施設に到着し早速昼食を取りました。昼食後、グループを担当するリーダーと合流しました。今回のリーダーはジュニアリーダーとして活躍する方々です。グループに分かれ、自己紹介を終え、レクリエーション大会を行いました。初めの競技は「カモン」というジャンケンとかけっこを合わせたものです。ゲーム開始時は恥ずかしそうにされていましたが、徐々に声も出てきて、笑顔も増えてきました。他にも「ラインナップ」、「○人○脚」などを行い、どのグループも盛り上がり、楽しそうな様子が伺えました。期間中お世話になる生活棟へ移動し、使い方の説明を受けました。説明後、入浴準備や布団のシーツ敷きなどを行いました。夕飯は初めての食堂での食事です。美味しそうな料理にテンションは上がり、何度もおかわりされていました。夜はレクリエーション大会第二弾を行いました。「伝言ゲーム」、「スタンドアップ」という遊びを行いました。その後、とても楽しいダンスをジュニアリーダーから教えてもらい、音楽に合わせて楽しく踊りました。常に笑顔いっぱい、まだまだ遊び足りないようですが、その元気を明日に備えて、入浴、就寝準備をしたのち、眠りにつきました。

二日目： 朝の起床の合図と共に元気な声が沢山聞こえてきました。朝食はサンドイッチを自分達で作りました。温かいスープと一緒に食べるととても落ち着き、気温も暖かく、皆笑顔で食べておられました。朝食後はお待ちかねの野外炊飯です。メニューは定番のカレーです。器材の説明や、注意事項をジュニアリーダーからしっかりと聞き、各グループで作りはじめました。初めて包丁を扱ったり、かまどの火付けをしたりされるメンバーもおられましたが、誰一人ふざけることなく、本気の表情で行っていました。枝拾いでは天気が最近良かったので、よく燃えそうなものばかりで、大きいものや太いもの、重いものなど沢山集めてきて、自信溢れる様子で誇らしげにされていました。カレーも出来、お皿に盛り付けるといただきます！！「今までで一番美味しいカレー！！」や、「家で食べるカレーより美味しい！！」など多くの評判の声が聞こえました。どのグループも残すことなく、完食しました。片付けも一生懸命に、冷たい水に誰も嫌がることなく、お皿やスプーン、お鍋などを洗いました。ご飯が少し焦げてしまったグループは飯ごうの焦げをとるために、交代で手を入れて必死に磨いておられました。皆の頑張りのおかげで、思った以上に早く片付けを終わらす事が出来ました。夕食までの時間はグル



ーブタイムとして部屋で談笑を楽しんだり、時間ギリギリいっぱいまで外で走り回ったりしました。夕食後、待ちに待ったキャンプファイアです。今回はジュニアリーダー達が全てレクリエーションを準備されており、それをメンバーは温かい目で見守りながら、大いに盛り上がり、楽しみました。



三日目： キャンプの疲れが溜まってきており、朝ゆっくりしたいところですが、起床後は着替え、洗面を終えると、布団の片付け、荷物の整理、部屋の清掃、共有スペースの清掃を行いました。キャンプに慣れてきたのか、何事もテキパキと素早く行っておられました。朝食は作って楽しい、食べて美味しい「棒焼きパン」です。作り方をジュニアリーダーから教えてもらい、熱さを我慢して必死に焼かれていました。美味しく焼き上げる事が出来たパンをちぎって食べたり、そのままかぶりついて食べたりして美味しくいただきました。朝食後は荷物を運び出し、生活棟を後にすると最後のプログラムである「思い出額縁づくり」を行いました。ジュニアリーダーの見本を確認しながら必要な材料集めを行いました。この頃にはすっかりとグループが出来ており、一人で突っ走ったり、逸れたりすることなく楽しそうに拾われていました。枝を集めると、のこぎりを使って切り分け、紙やすりで削り、板に貼り付けていきます。ジュニアリーダーから切り方を教えてもらい、落ち着いて切る事が出来ました。作成途中ですが昼食を挟みました。最後の食堂利用なので、美味しくいただき、片付けの後、食堂の方にお礼を伝えました。食後は引き続き工作を行いました。額縁が完成したので、額の真ん中にキャンプで一番思い出に残っている絵を描きました。活動の様子を描いたり、グループで楽しんでいる様子を描いたりしました。あっという間に出発の時間になりました。施設にお礼を伝え、バスに乗り込み、施設を後にしました。車内では疲れて寝られている方やお友達と一緒に最後まで談笑を楽しんだりしました。解散時には「またね」と握手をするととてもあたたかい様子を伺う事が出来ました。



<キャンプ総括>

今回の春まるかじりの参加者数が過去最多となりました。本当にありがとうございます。「春まるかじりツアー」は他のキャンプと違い、各グループ内に大人の引率者がいますが、安全確保のみを担当し、グループワークは“ジュニアリーダー(以下ジュニアと呼称)”が担当します。ジュニアは一生涯懸命されているのですが、力不足と緊張からなかなかまとめられず、まるかじりメンバー(以下メンバーと呼称)の様子は落ち着きが見られません。しかし、時間と共にその様子に変化が起こります。お喋りの多いメンバーが静かに話を聞いたり、落ち着きがないメンバーが座って話を聞いたりされていました。キャンプに慣れてきた事もありますが、メンバー同士で注意し合っている姿を見受けられました。メンバーがジュニアの頑張りを受け止め、協力されているように私は感じました。『頑張りには伝わる』事が見受けられました。必死にメンバーの為に動いているジュニアの姿を見て、憧れを持たれている方もおられました。今回のキャンプはジュニアだけの力ではなく、メンバーも一丸となって支えていただいたからこそ成功を迎えられたのだと思います。これを機にジュニアリーダーを目指されるメンバーがおられることを楽しみにしています。

(竹中 哲郎)